

はばたけ14歳

高めよう 若い力 自立の心、
未来の夢に向かって

「若い力」

失敗を恐れず 何事にも前向きに挑戦する力

「自立の力」

大きな夢や希望をもち独り立ちしようとする力

立志のすすめ

未来の夢の実現のために
より良い学校生活を送るために
将来よき社会人となるために
自己を振り返り、大人への第一歩を
踏み出しましょう。

テレビやラジオで
ご活躍されている
木村 つづくさんより
立志を迎える皆さんへ
メッセージを頂きました。



ホームページは
こちら ▶



公益社団法人 宮崎県青少年育成県民会議

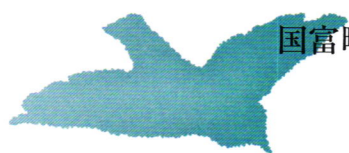
令和7年11月発行

本年度は、各関係団体等に参加の御案内をし、250名を超える参加者にご覧いただく中で「青少年の主張宮崎県大会」を開催しました。ここに掲載した、少年の部（中学生）の最優秀賞受賞の作文は情報社会である現在において、インターネットやSNSとの向き合い方について述べられています。

皆さんも、立志を迎えるにあたり、インターネットやSNSとの向き合い方について考える機会にしてみてもはいかがでしょうか。



情報社会と 付き合っていくために



国富町立本庄中学校 3年

ごうだ
合田

さい
采



常に手元に大量の情報がある今。私達中学生でも、簡単に情報を手に入れることができます。私は、そんな今だからこそ、社会に出る一歩手前のうちから、「情報との正しい向き合い方」を身に付けておくべきだと考えます。

なぜなら、インターネットやSNSの情報は、あらゆる問題を引き起こしているからです。

例えば、石川県能登半島地震の際には、SNS上で「デマ」が流れていました。そのデマの中に、虚偽の救助要請をしたとして、実際に逮捕されたという事例があります。しかしこの裏には、流された情報を見て、それを拡散した人がいるという事実が隠れています。拡散したのは、助けたいという思いからでしょうか。それとも興味本位でしょうか。私は、そのどちらだったとしても、情報をすぐに信じて、流されてはいけなかったと思います。たくさんの情報があって便利な中でも、「ちょっと立ち止まって考えてみる」ことが大切なのではないでしょうか。

私の伯父と伯母は、綾町で飲食店を営んでいて、私も手伝うことがあります。もしも、そのお店のデマが流されてしまったら、私はそれを許すことはできません。一生懸命に頑張っていると知っているからこそ、誰かの放った何気ない一言で彼らの努力が崩れてしまうのは、理不尽です。

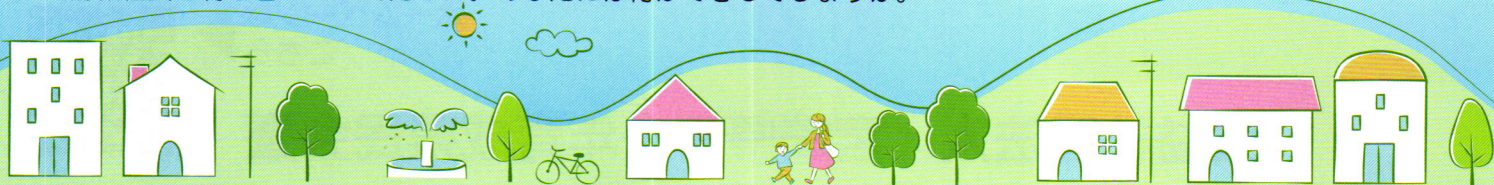
インターネット上には、「詐欺広告」というものが存在します。ある日、祖父から一本の電話がかかってきました。インターネットを見ていると突然「容量がいっぱいでクリーンアップをする必要がある」と表示されたと言うのです。それを聞いた母が、いち早く詐欺広告の可能性を伝えたため、無事に解決することができました。もしかしたらあの時、大切な個人情報盗まれてしまっていたかもしれません。私はそう考え、祖父が立ち止まって相談してくれて良かったと心から思いました。そして、その出来事以来、今見ているのは本当に信用できる情報であるのかをより深く考え、見極めるようになりました。

中には「インターネットとの向き合い方は早いうちから学ばなくても、大人になれば自然と分かるようになる」と考える人もいます。しかし、明日の私達は、今日の私達が積み重ねたものでできていきます。一つずつ、繋がっていきます。幼い頃から身に付けてきた「話す力」や「書く力」と同じように、「情報を見極める力」も今からの積み重ねでできていくものだと、私は思っています。どんな事でも、大人になって急にできるようにはなりません。今だからこそできることが、きっとあります。

これまでの意見と根拠を踏まえ、私は社会に提案したいことがあります。それは、学校の授業の一環として、情報について学ぶ機会をもっと充実させるべきだということです。これから先、月日が流れるにつれて、情報の量は増え、さらに情報社会として発展していくでしょう。そんな中で、子供達がインターネットやSNSの情報を取捨選択することができるように、情報について学ぶ機会が必要なのではないでしょうか。インターネットの良い点、問題点や、使い方ひとつでトラブルに発展してしまうことなどを学ぶことで、生徒一人ひとりの、情報との向き合い方も変わってくるのだと思います。

インターネットやSNSは、便利です。しかし、そこにある情報が原因で起こりうる問題があるのも事実です。

情報社会と付き合っていくために。あなたには何ができるでしょうか。





あそびば株式会社 代表取締役

木村 つづくさん

<プロフィール>

1971年11月9日生まれ

○宮崎県延岡市出身

○岡富中学校卒業

○延岡で高校まで過ごし、東京に進学

○卒業後、宮崎の広告代理店に勤務

○30歳で会社を辞め、バックパッカーになる

約2年半で30ヶ国を旅する

○帰国後、ご縁あってラジオパーソナリティとなり、

テレビタレントとなる

○趣味は、ゴルフ、釣り、登山、バンドなど

○あそびば株式会社 代表取締役

お祝いの言葉

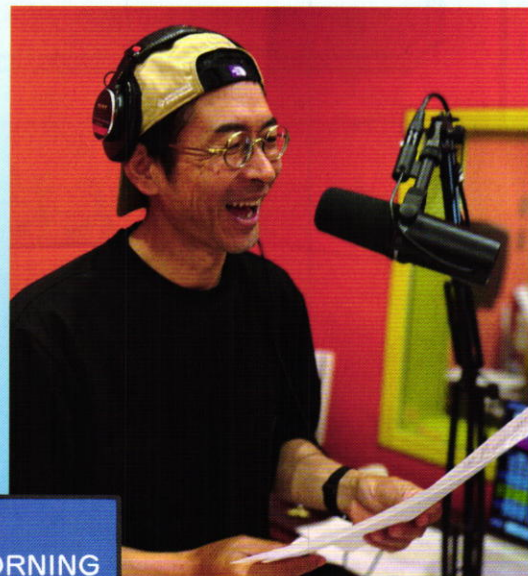
この度、「立志式」を迎えた14歳のあなた、保護者の皆様、誠におめでとうございます！心からお慶び申し上げます。
私が14歳の頃の話を書いたします。

今でこそ人前に出て、何やらもっともらしいことを話したりするような仕事をしていますが、私が14歳の頃は、すべてが「よだきい(めんどくさい)」と思っている少年でした(笑)。学校の勉強も野球部の部活もすべてが、よだきい！「人生史上、最もやる気のない暗黒時代」でした。今振り返ると、私なりの思春期だったのかなぁと思います。そんなやる気の無さは実に大学まで続きます。長い！長いぞ暗黒思春期！話にならない怠惰な生活をずっと送りました。

しかし、14歳だった木村少年はこの辺りから何かが変わって行くのです。大学を卒業する直前、母親が病気で他界しました。卒業後、私はご縁あって宮崎の「広告代理店」で働き始めました。そこで7年半、思いっきり営業の仕事に情熱を燃やしました。なぜかまったくよだきくない！先輩達と仕事を共にしお客様と協働し、営業成績を上げることが面白かったんです。そして、30歳になり会社を辞めてバックパッカーになり約2年間で30ヶ国を旅しました。帰国後、ご縁あってラジオパーソナリティになり、テレビタレントになりました。現在、担当している朝のラジオ番組は21年目、一度も「よだきい」と思ったことがありません。あの14歳の木村少年はこんな人生を1ミリも想像していませんでした！母親が「命は必ず終わる、人生は短い、思いっきり生きろ」ときっと教えてくれたんですね。今は暇さえあれば全力で遊ぼうとしています(笑)。私の今があるのも、沢山の方々のおかげです。本当にありがとうございます！

14歳のあなた、さぁ、どんな人生になるでしょうかね！どんなあなたにでもなりますよ！なれますよ！
14歳のあなたが年を重ねた時に、ふと、自分の人生が幸せだなぁと思って欲しいです。そんな日が来ることを心から願っています。健康第一、感謝第一。 木村つづく

今日も
自己ベストを！
mrk



<出演番組>

○エフエム宮崎 JOY FM HYBRID MORNING
Omrt 宮崎放送：つづくさんのどうだよ(^^)

参考資料

立志式(集い)とは

人生にはいろいろな意味での節目があります。代表的なものに、七五三のお祝いがあります。七五三は、その年齢まで健康に育ったことを皆でお祝いし、さらにこれからの健康を願う習慣です。

大事な人生の節目に成長を祝い、自覚を促す儀式の意味を考えると、今の中学時代を意義あるものとし、将来への第一歩を踏み出す上で大切なことです。

かつての武士社会においては、人生の通過儀礼として、数え年15歳の立春の日に元服式が行われていました。この日を境に、髪型や衣服もそれにふさわしいものに替えて、社会から一人前の大人として認められ、大人の仲間入りをするという人生の大きな節目としていました。

立志式(集い)は、昭和38年日本児童文芸家協会の提唱で、14歳という心身の発達の節目と多感な年齢を踏まえ、自覚・立志・健康の目標を掲げて、日本各地で儀式として行われるようになりました。

現在では14歳から少年法が適用されていることから、社会的責任が負わされることとなり、節度と自覚のある生活が求められています。

名言

『三計の教え』

一日の計は朝にあり

一年の計は春(元旦)にあり

一生の計は少壮の時(少年時代)にあり

<出典> 安井息軒(やすい そっけん)(幕末の儒学者 1799~1876)が開いた三計塾の「塾記」にある言葉
<意味>

三つの計はすべて始まりを指しており、何事も初めが大切であるという考え方をもとに「今日という日は二度と戻らない。一日一日を、その時その時を大切に一生懸命勉強しなさい。」という教え。

「人生は若いうちこそ大事であり、しっかり勉強しなさい。」という塾生へのメッセージ。

一宮崎の偉人「安井息軒」一

宮崎郡清武郷(現在の宮崎市清武町加納)出身の江戸時代の儒学者。

安井息軒が大成した儒学の教えは、江戸期における学問の集大成と評価されている。

延べ2000人も塾生が息軒のもとで学び、明治時代に活躍する人材を多く輩出した

(参考)「宮崎県郷土先覚者」(宮崎県総合政策部みやざき文化振興課)

「困った時、悩んだ時、誰かに話してみませんか」

いじめや
友人関係のこと...
家族のこと...
学習や
進路のこと...
宮崎県教育委員会
人権同和・生徒指導課

**24時間子供
SOSダイヤル**

フリーダイヤル **0120-0-78310**
通話料(つうわりょう)は無料(むりょう)です。

24時間、365日、電話を受け付けています。電話相談は、匿名でも相談できます。
その他の様々な不安や悩み、心配なこと...困った時は、電話で相談を!!

宮崎県子どもSNS相談 できること

勉強のこと
進路のこと
友だちや先生とのこと
人には話せない悩み
最近友だちが元気がない
お家の手伝いが大変
ネットいじめ

平日毎日相談
できるようになりました!

相談 毎週月~金 17:00~21:00 連絡 毎日24時間受付
受付期間: 令和7年4月1日(火)~令和8年3月31日(火) 画面の二次元コードから相談できます▶▶▶▶▶

LINE

LINEを使っている人は、ひだりの二次元コードをLINEアプリで読み取って友だち登録しましょう。

LINEを使っていない人は、みぎの二次元コードからサイトにアクセスしましょう。

▼パソコンからも使えます
<https://lp-miyazaki.soudan-chat.net>

WEB

SNS相談以外の相談窓口(24時間受付)
○ 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310
○ 児童相談所全国共通ダイヤル 189

通話している時間帯はつながりにくくなります。急ぎの場合や受付時間外に相談したい場合は、電話相談を利用してください。